

2026
5.29
FRI

アートでひらく、 ケアの力

岡山県立大学

参加無料

14:00 - 15:15
特別講演会 アートとケアへのまなざし
-100年前のドイツの写真家たちと、
現在の美術館の取り組みから
中田耕市 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館
副館長兼学芸課長

OPU
フォーラム
2026
岡山県立大学 研究展示発表会

<https://www.oka-pu.ac.jp/research/page-996/>



展示・出店の詳細はこちら

アートでひらく、ケアの力

「アート(art)」という言葉は、かつて芸術と技術をともにあらわし、わたしたち人間が生きるための術という豊かな意味をもっていました。こうした広い意味でのアートは、人と人、人と自然、さらには人と人工物も含めた環境とが、互いを気づかい承認し合う状態、つまりケア的な関係を創造する原動力となり、その舞台となる可能性を秘めています。OPUフォーラム2026では、岡山県立大学で育まれているさまざまな「アート」によってひらかれるケアの力に迫ります。

2026

参加するとオリジナルグッズをプレゼント!

14:00-15:15 特別講演会(講堂)

アートとケアへのまなざし
—100年前のドイツの写真家たちと、
現在の美術館の取り組みから

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館 副館長兼学芸課長
中田耕市 NAKATA Koichi



1920~30年代のドイツにおいて、写真は単なる記録を超え、世界との新しい関係をひらく表現へと大きく変化しました。人間、自然、人工物をあらためて見つめ直した写真家たちのまなざしは、これまで不可視だった存在や関係性を「見えるようにすること」へと向かい、世界を把握する新しい方法の獲得へとつながっていきます。一方、そこから約100年を経た現在、アートはさらにその領域を広げ、美術館でもまた作品との対話(=鑑賞)にとどまらず、他者や社会との関係やコミュニケーションのあり方を問いかける様々なプログラムが実践されています。

本講演では、100年前のドイツの写真表現と現代の美術館の取り組みを往還しながら、アートを広義のケア——世界に対する配慮と応答の技法——として読み直し、これからの100年に向けた可能性を探ります。

中田耕市

1972年徳島市生まれ。岡山大学文学研究科博士課程満期退学。2013年まで丸亀市猪熊弦一郎現代美術館(MIMOCA)で展示会の企画に携わり、金沢21世紀美術館キュレーターを経て同館学芸課長。2022年11月にMIMOCAに戻り、現在、副館長兼学芸課長を務めている。これまでに写真や映像表現の展示会を多く手がけており、主なキュレーションに「野口里佳展 予感」(2001)、「エルネスト・ネト」(2007)、「ノイエ・フォトグラフィー 1920-30年代のドイツ写真」(2008)、「小金沢健人展 動物的」(2009)、「Sicketel キュビキュビと石橋義正」(2010)、「杉本博司 アートの起源」(2010-2011)、「大竹伸朗展 ニューニュー」(2013)、「トーマス・ルフ」(2016)、「ムン・キョンウォン&チョン・ジュンホ:どこにもない場所のこと」(2022)、「大竹伸朗展 網膜」(2025)などがある。

10:00-17:00 研究展示会

コラボタイム

前半 10:00~11:00 後半 12:00~13:00

本学教員や企業担当者と質問・ディスカッションにより直接交流できる時間です。※各展示場所・時間などはウェブサイトからご確認ください。

本学の研究展示
企業/団体展示

スタンプラリー

スタンプを集めると景品がもらえる「推しラボ(スタンプラリー)」を開催します!

10:45-12:15 学生発表展示(toitowa)

来場者の投票により奨励賞が決定します。ぜひ投票ください!

コンテスト

15:30-16:30 重点領域研究成果発表(講堂)

本学が重点的に取り組むべき研究として学部の異なる教員が共同で行う重点領域研究の発表を行います。

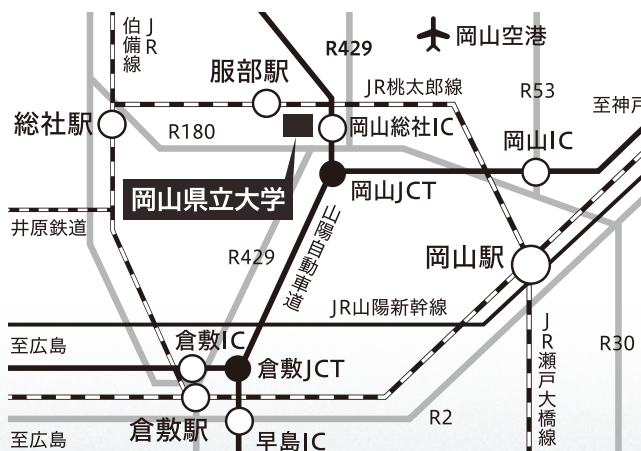
人間とAI エージェントの共存社会 シミュレーション —人工知能、認知科学、脳科学、 介護福祉教育学、教育学からのアプローチ	情報工学部 情報通信工学科 教授 岩橋直人
AIによる感性の獲得 —AIはデザインを理解できるか—	デザイン学部 ビジュアルデザイン学科 教授 齋藤美絵子
視覚障がい者の観察から得られた気づきを 活かしたプロダクトの研究	デザイン学部 工芸工業デザイン学科 助教 藤川裕子

10:00- 地域の食/キッチンカー

詳しくはウェブサイトからご確認ください。

※売り切れ次第終了

5.29
FRI



アクセス(地図挿入)

- ・JR桃太郎線・服部駅から徒歩5分 JR岡山駅からJR桃太郎線で約30分
 - JR倉敷駅からJR総社駅経由で約40分
 - ・岡山自動車道・岡山総社ICから車で5分 ・岡山空港から車で30分
- 無料駐車場あり

岡山県立大学 地域創造戦略センター(連携推進班)
〒719-1197 岡山県総社市窪木111番地
TEL:0866-94-9116(直通) FAX:0866-94-9105
E-mail:rcr-sec@ad.oka-pu.ac.jp